

# 平成27年度 国有林モニターアンケート 結果概要

国有林モニターの皆様から、森林・林業や国有林野事業に関する関心に関するご意見、1年間のモニター活動に対するご感想等を伺うため、平成28年1月から2月にかけて国有林モニターアンケートを実施し、44名中35名の方に回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

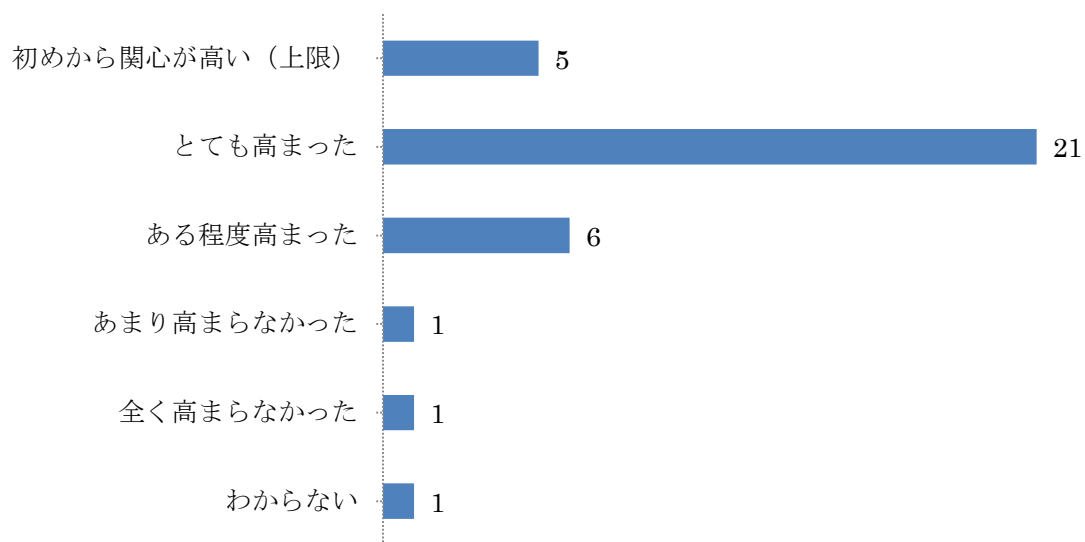
以下にアンケートの結果を報告いたします。なお、ご意見は抜粋・要約して掲載しております。

## 質問事項

- I 平成27年度国有林モニター活動について
- II その他

### I 平成27年度国有林モニター活動について

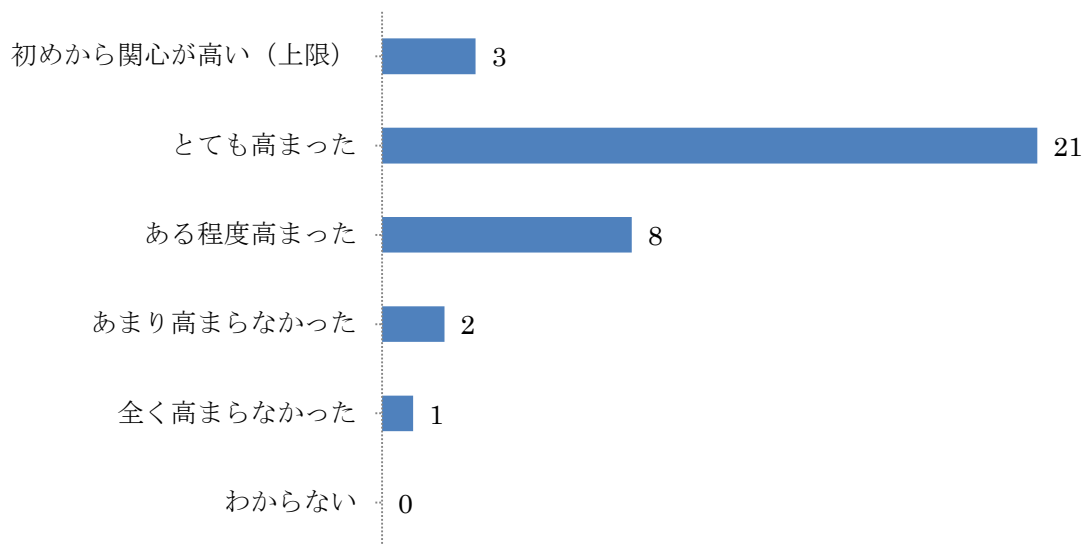
#### 問1 国有林モニター活動を通して、森林・林業への関心は高まったか。



#### 〈理由、意見等〉

- ・モニター開始時は、森林・林業について何も知識がなかったが、広報誌やHPを閲覧し、森林・林業の重要性を認識することができた。
- ・モニター会議に参加し、実際の現場を見学することで、日常生活との関わりを知ることができた。
- ・モニター活動を通して、循環型林業の重要性を再認識した。木材製品を購入する機会も増えた。
- ・森林の持つレクリエーション機能等、林業以外の角度から山、森林を見ること・知ることができた。

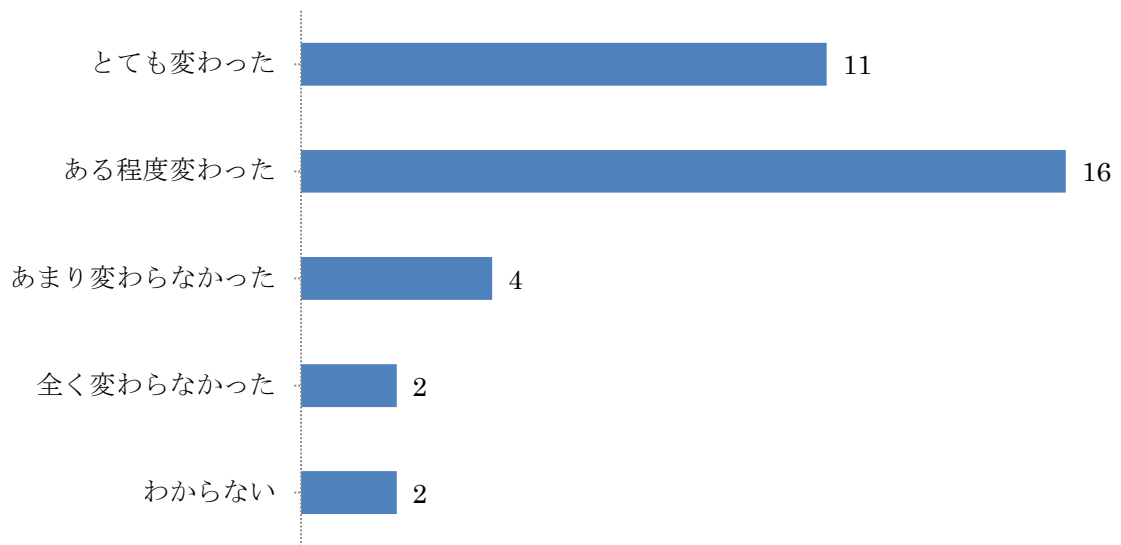
問2 国有林モニター活動を通して、森林の持つ多面的機能やその機能の向上に向けた取組について、関心は高まったか。



〈意見、感想等〉

- ・ 広報誌や HP の閲覧により、森林の持つ機能を理解するとともに、なぜ適切な管理が必要なのかも知ることができた。
- ・ 森林の持つ機能の一つとして土砂流出防止があるが、今般、民間の森林が伐採されメガソーラーへと変わっていくことに不安を感じる。
- ・ 森林の持つ公益的機能の維持増進に向けた国有林の取組がよく理解できた。新聞などで森林の重要性、行政の取組が報道されることが、森林を適切に管理することの重要性を広く国民に理解させるためには必要であると感じた。
- ・ オリンピック・パラリンピックを活用して、森林整備の重要性・木造のすばらしさを海外の方だけでなく、国民にも PR していただきたい。
- ・ 森林の持つ水源涵養機能に興味を持った。森林整備は森林にとってだけでなく、飲料水としての水の活用や豊穡な水による海水の肥沃につながり、我々の生活に非常に重要であることを理解した。

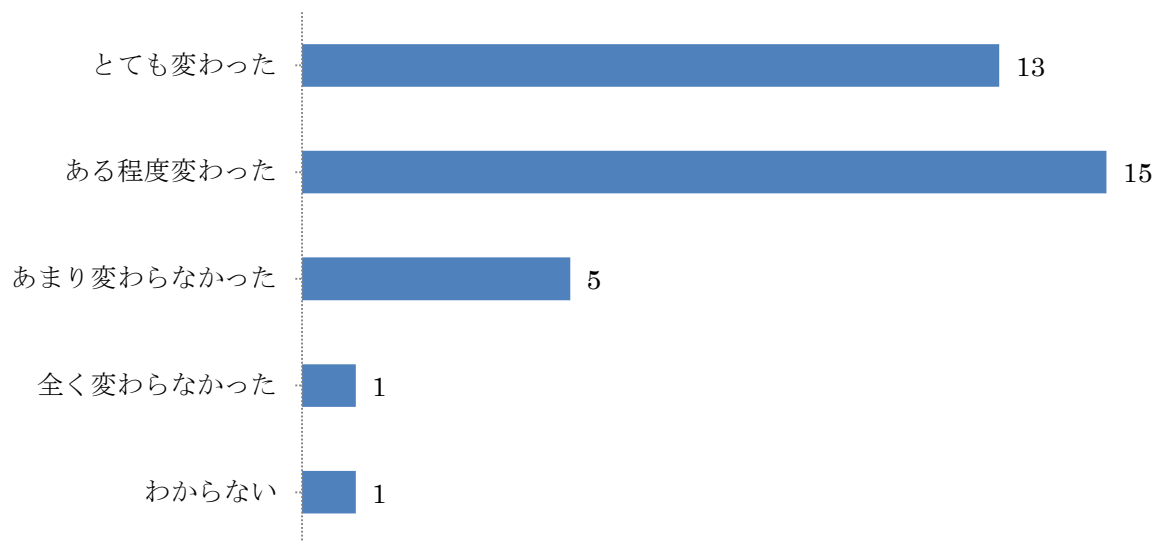
問3 国有林モニター活動を通して、森林・林業・木材産業に対する考え方が変わったか。



〈意見、感想等〉

- ・森林・林業に対するイメージは、スギ・ヒノキを育て売却することのみだったが、モニター活動を通して、レクリエーション機能等国民の生活を豊かにする機能を持っていることを理解した。
- ・広報誌を通して、各地域の木材を活用した工芸品の販売等ブランド化を進めようとする動きが活発であることを知った。このような動きを広く国民に理解させることが森林・林業の活性化の第一歩だと感じた。

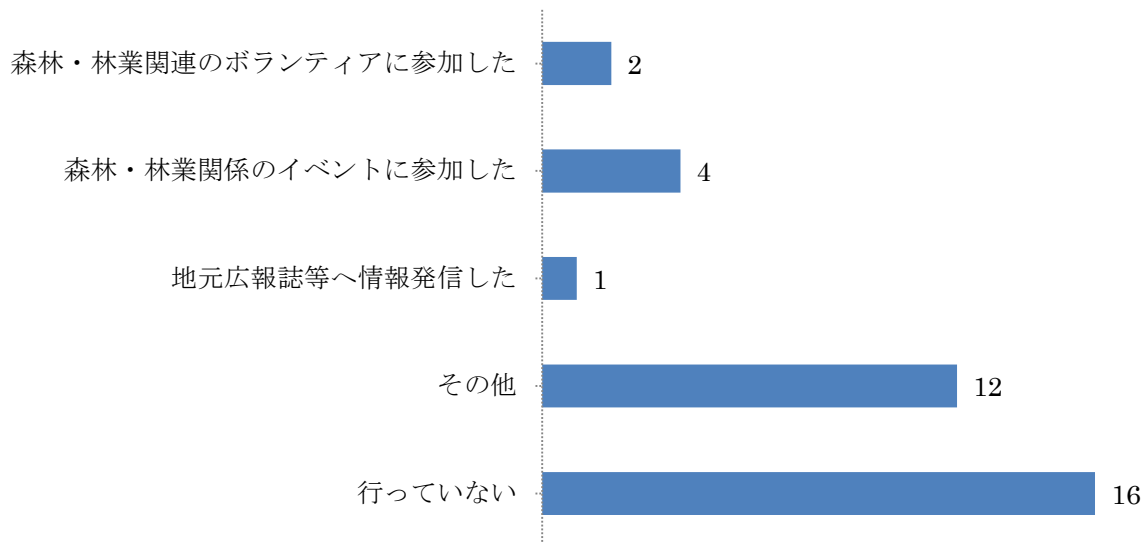
問4 国有林モニター活動を通して、国有林や森林管理局、森林管理署に対する考え方は変わったか。



〈理由、意見等〉

- ・安心・安全な国民の生活を継続するためにも今後とも国有林の管理経営を計画的に進めていただきたい。
- ・地球温暖化の防止を始め、森林の持つ公益的機能を維持増進させるためにも、林野庁・森林管理局の様々な取組に期待している。

問5 国有林モニターになってから、始めた取組はあるか。



〈詳しい活動内容等〉

- ・ 林業体験教室
- ・ 伐採～製材までの見学及び木造住宅の組み上げ体験
- ・ 防風林の清掃作業ボランティア
- ・ 県主催の森林・林業ボランティア
- ・ 社内での広報誌回覧
- ・ 同窓会等での森林の適切な管理の重要性のPR

問6 次年度以降の国有林モニターの取組（アンケートの実施、モニター会議、情報提供等）について変更した方が良いと感じるか。

〈変更して欲しい点や意見等〉

- ・ 森林・林業関係のイベント開催情報を提供していただくとともに、イベント参加者を募って欲しい。
- ・ 国有林モニター会議において、国有林の取組を学ぶために座学の時間をもう少し設けることができればより良いと思う。

## II その他

今回伺ったことを含め、森林・林業、木材産業、国有林や森林管理局、森林管理署に対する期待、意見、要望があれば記入。

- ・義務教育の期間に子供が日本の国土・森林・林業の現状及び重要性を適切に理解できるようなカリキュラムを取り入れて欲しい。
- ・国土保全という観点、経済との絡みなど産業として森林の活用は重要事項であるが、大変難しいことであると感じる。近年、地球温暖化に絡めて環境面でも非常に難しい問題が山積しているが、国内産業の活性化に併せて林業を発展させていきたい。
- ・本年から山の日が国民の祝日になったが、現状では PR が不足しており、国民にとって祝日が増えて喜んでいるだけの者が多々いる。これを期に市町村と連携した森林整備の重要性の PR 強化が必要であると感じる。
- ・モニター活動を通じ、森林・林業・木材産業の現状や課題など様々な知識を得ることができた。今後も広報誌やポスター、イベント情報を発信することで、国民に森林の重要性を PR していただきたい。
- ・モニター活動を通じ、森林整備の重要性や林野庁、森林管理局が国民の生活に大きく貢献していることがわかった。この活動を多くの国民に知ってもらうことから一人一人の意識が変わるはずなので、各新聞や都道府県・市町村の広報誌、TVCMなどで森林に関する情報発信をしていただきたい。